

ニュースレター

28

発行：2003年3月

ちょうふ環境市民懇談会 第2回全体会

2月8日(土)調布市民センターで「ちょうふ環境市民懇談会」全体会を兼ねたシンポジウムを開催しました。活動報告、展示発表も昨年を上回る数になり、大変盛況のうちに終わることができました。まだまだささやかではありますが、調布の自然を守ろうという思いの方々がこれだけ集う「場」は他にはないということも事実です。同会場で行われた懇親会にも多くの方々に参加していただき、新しい出会いの中で、交流を深めることができました。横山先生の徹底したりサイクルの実践のお話では、頭では理解できていても行動が伴っていない自らの現実に改めて反省させられ、実践することの大切さや強さを感じました。ご協力いただいた方々にお礼申し上げます。

.....プログラム.....

あいさつ

今年度運営委員長のあいさつの後、ちょうふ環境市民懇談会の説明がありました。



司会のお二人
息がピッタリ!色もピッタリ!



活動報告

懇談会のプロジェクト以外にも、市民団体の積極的な参加により、10団体から今年度の活動報告がありました。このほか展示発表のみの団体が3団体ありました。



ニュースレターを展示しました。
カラーとは知りませんでした...



基調講演『雑木林の自然について』

講師：横山譲二氏

雑木林とは?から始まり、調布の森の移り変わりなど、調布の自然を見続けてきた横山先生ならではの話を聞くことができました。



お土産用の炭



パネルディスカッション

『今なぜ雑木林なのか』

パネラーは、市内で雑木林の保全活動をしている皆さんばかり。実際の活動の話や、課題など生の話が聞けて参考になりました。



運営委員の選出

9名の運営委員の皆様、来年度もよろしくお願ひします。



終了

参加者：62名
参加団体：13団体

今月の活動報告

- ・第2回 全体会
- ・雑木林塾
- ・野川・里山探検隊
- ・人間・樹林の会
- ・田んぼの学校



へび山の主、現る！？

～ 雑木林塾講座 第4回目（1月25日）とオプション講座（2月15日）～

1月の雑木林塾では、どんなへび山にしたいかというイメージづくりを行いました。都立農業高校神代農場講師の小池さんから雑木林の講義を受けた後、参加者全員でグループ討議に参加し、将来のへび山像を作り上げました。多かった意見として、崖線から北の遺跡が埋まっているエリアは間伐をしてシンボリックな樹のみを残し子供達が遊びやすい場所に。崖線から南のエリアは自然の生態を生かす場所にしたいというものでした。

次回第5回目雑木林塾ではへび山の木や草がどのように分布しているか、また土の状態や日当たりの様子を把握できるマップづくりを行います。

オプション講座ではマップづくりの準備のため、活動場所の境界の確認とゴミ拾いを行いました。第3回目の講座でゴミ拾いをしたはずなのに、たった二ヶ月弱の間にもごみは増えており、ゴミを捨てさせないための看板づくりをしようということになりました。

ゴミ拾いをしていると埋まったビニールの下から冬眠中の子供のへびが見つかり、「やっぱりへび山にはへびがいるんだね。」と歓声の聲が上がりました。



野川・里山探検隊 枯れ木の伐採と炭焼き

午前中は雨という天気予報が、とんでもない好天気となった2月9日。今年度最後になる「野川・里山探検隊」を深大寺のかに山で行いました。今回はかに山にある枯れ木をのこぎりで薪にする作業からはじめましたが、最初はなかなか切れなかった隊員も数を切るうちに慣れてきて、どんどん薪ができました。その頃には、みんな暑くて汗だくでした。切った薪をキャンプ場まで運び、かまどに薪を組み焚き火の仕方を覚えました。

次は、持ってきた空き缶（金属の箱や筒など）に松ぼっくりや竹などの炭の材料を入れ、ふたをしてから穴を数ヶ所あけ、針金でしばり炭焼きのセット完了です。焚き火に不安そうに点火しましたが、どの班も無事に着火できました。いよいよ材料を入れた金属缶を網の上にセットし炭焼き開始！ついでに、焼き芋もセットしました。しばらくすると缶の穴から可燃ガスが出て、激しく炎が噴き出し、みんなびっくり！炭を作っている間には木工作（音の出るおもちゃ）をおこない、子どもも大人も夢中になりました。缶を網からおろし、焼き芋を食べている間に炭を冷ました。

冷めてから一斉にふたを開け、炭の出来ばえにまた大感動の一日でした。



人間 樹林の会 活動報告

2月16日(日)予定では落葉掃きと現地樹林地のマップ作りを現場で行うはずが、残念ながら雨天のため計画変更。まずは現地の落ち葉だめや木の位置の確認を行ったのち、人間地域福祉センターに戻って、4月からの作業計画をみんなで検討しました。

前回の活動の時に来ていただいた根本講師からの助言もあり、方形枠調査は継続することに。また今年度は伐採した木もあり、原図との相違もあるので木の調査をすることになりました。木に番号と樹名を付け、図面に記録する予定です。キツネのカミソリ、ヤマユリ等保全を必要とする植物の分布も確認し、図面に残します。その他4月のみどりの日(4月29日)に臨時活動として隣接のNTT構内の観察会を行います。キンランの咲く時期ですので、調布の他のグループにも呼びかけて一緒に散策したいと思います。これらの実施とともに、現地の管理作業も継続的に毎月行います。

この他、活動をより活性化するため、市役所のロビー等に掲示を行い、参加勧誘のPRをすることが合意されました。活動も4年目に入ります。多くの市民の方に参加を呼びかけましょう。



| | |
|-----|--------------|
| 4月 | 方形枠調査・管理作業 |
| 緑の日 | NTTの構内の観察会 |
| 5月 | 木の調査・管理作業 |
| 6月 | 木の調査・管理作業 |
| 7月 | 方形枠調査・管理作業 |
| 8月 | 管理作業 |
| 9月 | NTTの構内の観察会 |
| 10月 | 方形枠調査・管理作業 |
| 11月 | 子供達との交流会 |
| 12月 | お楽しみ会 |
| 1月 | 方形枠調査・管理作業 |
| 2月 | 管理作業・次年度計画立案 |
| 3月 | 管理作業 |

ちょうふ DE 田んぼ日記その22 「正月恒例の行事、佐須のどんど焼き！」

1月11日、祇園寺の前の畑で佐須地域のどんど焼きが、青年会の人を中心に盛大に行われました。この行事は調布でも数少なくなかった年中行事で、塞の神(セイノカミ)とも呼ばれ、あらかじめ各家々から、正月の松飾りなどの飾りもの、昨年の神札や注連飾り、ダルマ、書き初めなどを集め、山のように積み重ねておき、その日それに火をかけて燃やすという火祭りです。当日は地域の人から搗きたてのあんこ餅もふるまわれ、思わず舌つづみ。



ついでに佐須周辺の民俗風習にゆかりの神社仏閣巡りといこう。開創が崇峻天皇2年(589)といわれ延喜式にも記される古社という虎狛神社。深大寺ゆかりの満功(まんこう)上人が天平勝宝2年(750)に建立した祇園寺。以前は祇園寺の道路を挟んだ東側の高台、今の神明社のある場所にあった薬師堂。秘仏の薬師如来像は行基の作ともいわれる。最後は晃華学園南側下の崖にある榎の木稲荷。

小高くなっている祇園寺や神明社のある高台(亀島)を囲む周辺は、昔は一面の沼地で、その後が田んぼだったといわれるが、今はその面影もない。立ち寄った田んぼの畦はすでに春の気配。(受講生兼通信員 中原)



虎狛神社



祇園寺



薬師堂



神明社



榎の木稲荷

ガイドウォークに参加しませんか

日 時：3月9日(日) 10時～(荒天中止)
 集合場所：国領駅南口広場
 持ち物：筆記用具・その他(双眼鏡など)
 国領町4～7丁目周辺を見ながら歩きます。見所は屋敷林や、落葉樹の葉が落ちるこの頃によく見ることが出来るヤドリギなどです。案内役は調布市環境モニター(市民環境調査ボランティア)です。
 要申し込み：定員20人

どんぐり林公園 学習会

日 時：3月16日(日) 14:00～
 場 所：どんぐり林公園(富士見町)
 雨天時：ふれあいの家(白井米店となり) 予定
 持ち物：筆記用具
 講 師：都立農業高校神代農場講師 小池弘志氏
 主 催：富士見町地区協議会 申し込み不要
 雑木林の守り方・育て方について、講師からお話を伺います。どんぐり林公園をきっかけに、環境保全やまちづくりについて、一緒に考えて見ませんか。住宅地の中に残る大切な「みどり」を、地域で守り育てていきましょう！

入間・樹林の会活動日

日 時：3月16日(日) 9:30～12時
 集合場所：入間町地域福祉センター (荒天中止)
 持ち物：軍手、飲み物、筆記用具、
 その他：作業できる服装で
 落ち葉はきや、草取りをします。また、管理作業用道具の台帳を作ります。申し込み不要

上記問合せ先はすべて 環境保全課

子どもたちが輝くまちに～

「総合的な学習の時間」を共につくろう！
 日 時：3月26日(水) 10時～16時
 集合場所：調布市総合福祉センター201～203 会議室
 持ち物：筆記用具
 連絡先：調布ボランティアセンター 81-7695
 調布市内における総合学習の取組みとサポートの現状について話しを聞き、総合学習運営やサポートの仕組みづくりについて、一緒に考えませんか。ポスターセッションや交流会も予定しています。
 申し込み不要

『総合的な学習の時間』に対応する地域プログラム等作成事業 平成15年度活動スタッフ募集

市ではNPO(民間非営利団体)に委託して、小・中学校の「総合的な学習の時間」を支援する環境学習プログラムの作成と、環境学習支援者の養成をしています。この事業は2カ年計画で進めており、平成15年度は、新たに市民スタッフを募集します。次のとおり事前説明会を実施しますのでご参加ください。

日 時：3月10日(月)午前10時～
 場 所：文化会館たづくり9階研修室
 その他：応募希望で、説明会に参加できない方は、3月7日(金)までに環境保全課へご連絡ください。
 雇用者：NPO法人 多摩川センター
 問合せ：環境部 環境保全課

田んぼの学校参加者募集

「田んぼの学校」では、4月～12月までの土・日曜日を中心に、約20回の活動を通して米づくりの作業を体験できます。活動場所は雑木林があり、湧水が流れる自然環境豊かな佐須の田んぼです。調布の田んぼで稲作体験をしてみませんか。

対象・定員 市内在住の親子：10組
 市内在住の中学生以上：10人
 申込み・問合せ：野川で遊ぶまちづくりの会・尾辻
 (電話 87-4385 E-mail: kp5y-otj@asahi-net.or.jp)
 〆切り：3月31日(月)
 他：費用・保険等については要問合せ

会議のスケジュール

| 日時 | 場所 | 活動名/内容 |
|-------------------------|------------------|-----------------|
| 3月6日(木) 18:30～20:30 | 市役所3階 第1会議室 | 入間・樹林の会 世話人会 |
| 3月10日(月) 18:30～20:30 | 市役所6階 図書室 | 環境モニター 連絡会議 |
| 3月18日(火) 18:30～20:30 | たづくり 304会議室 | 環境市民懇談会 連絡会議 |
| 3月24日(月) 13:30～16:30 | 市役所3階 消費者コーナー | ニュースレター 編集作業 |
| 3月31日(月) 13:30～15:30 | 市役所3階 消費者コーナー | ニュースレター 発送作業 |

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課
 TEL：0424-81-7086

E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp
 発行：ちょうふ環境市民懇談会